

# 令和4年度いなさ会総会

出雲大社門前町

神門通り復活ストーリー

～まちづくり ひとづくり～

令和4年8月13(土)  
渡部 稔(34期卒)

# 自分の足跡①

- 1964年2月16日生まれる。(58年前)
- 1982年3月 島根県立大社高等学校 体育科卒業(第34期・体育科7期)  
サッカー部に所属(ポジションはGK)身長158Cm  
夢はサッカー選手(ドイツ代表のGKゼップ・マイヤーを目指す)
- 1982年4月 元日本代表賀川太郎氏率いる(株)良互薬品(田辺製薬の子会社)入社  
サッカー部に所属(毎日ナイターでの練習・土日は試合)身長165Cm  
夢は4年後の当時日本サッカーリーグJFL2部(現在のJ2相当)田辺製薬への配属。
- 1986年3月 サッカー選手をあきらめ出雲市に帰郷。  
レンタカー会社、トヨタ自動車で整備士として働き、オムロンの関連会社で大手メーカー向け各種スイッチ製造ラインの責任者など社会人経験をする。
- 1997年4月 有限会社 出雲観光タクシー入社現在に至る。

## 自分の足跡②

- 2005年(H17)3月22日 出雲市合併(2市4町が合併)(17年前・41才の時)
- 2006年(H18)4月  
大きな転換期・・・若者・ばか者・よそ者が集まる。  
大社門前若者会を旧大社町・出雲市メンバー9名で立ち上げ会長に就任。
- 2007年(H19)全国都市再生モデル調査事業を国土交通省に提出し、採択を受ける。  
2007年9月～2008年(H20)3月にかけて地元住民の方々とのワークショップ、先進地視察を重ね、神門通りのまちづくりについての提言を行う。
- 2008(H20)7月に神門通り甦りの会設立  
副代表に就任
- 2013年(H25年)神門通りおもてなし協同組合設立  
監事に就任
- 2017年(H29年)NPO法人ディオッサスポーツクラブ(ディオッサ出雲FC)  
理事長就任
- 2020年(R2年)10月 NPO法人いずも・ひとネット  
理事長就任

# 出雲大社門前町 神門通り復活ストーリー



- 大社門前若者会 会長(平成18年)
- 神門通り甦りの会 副代表(平成20年)
- 出雲ぜんざい学会 会長(平成28年)
- 出雲インバウンド事業推進協議会 会長
- 島根県レンタカー協会 会長
- ディオッサ出雲FC 理事長
- NPO法人いずもひとネット 理事長
- 出雲警察署協議会(みなし公務員)
- 出雲警察署沿岸警備協議会

- 島根県立大社高等学校(昭和57年卒業)
- 高校卒業し、サッカー選手として岡山県の会社に就職。日本リーグ(現Jリーグ)を目指すがけがで断念、22歳に島根県に帰郷、自動車整備工場、電子部品メーカーで人生経験。

• 30才(平成6年)神門通りの衰退に気づくが・・・

# 神門通りの移り変わり・隆盛期 昭和48年頃



# 神門通り衰退へ

1. 昭和50年代後半モータリゼーション時代到来
2. 平成2年JR大社線廃線・・・門前町が徐々に衰退

- 結果
- 1) 店舗数は20軒あまり（ほとんど生活に供す店）
  - 2) 道路の老朽化（実行されない都市計画）
  - 3) 建物の不統一感と空き店舗、空き家、空き地
  - 4) 観光客400万人→200万人に減少



# 神門通り 平成16年頃(17店舗まで減少・さみしい町へ)





# ① question time

皆さん、近年の出雲大社にお越しになる  
観光客の方どれ位かわかりますか？

💡 ヒント：15年前は200万～220万人と言われてました。

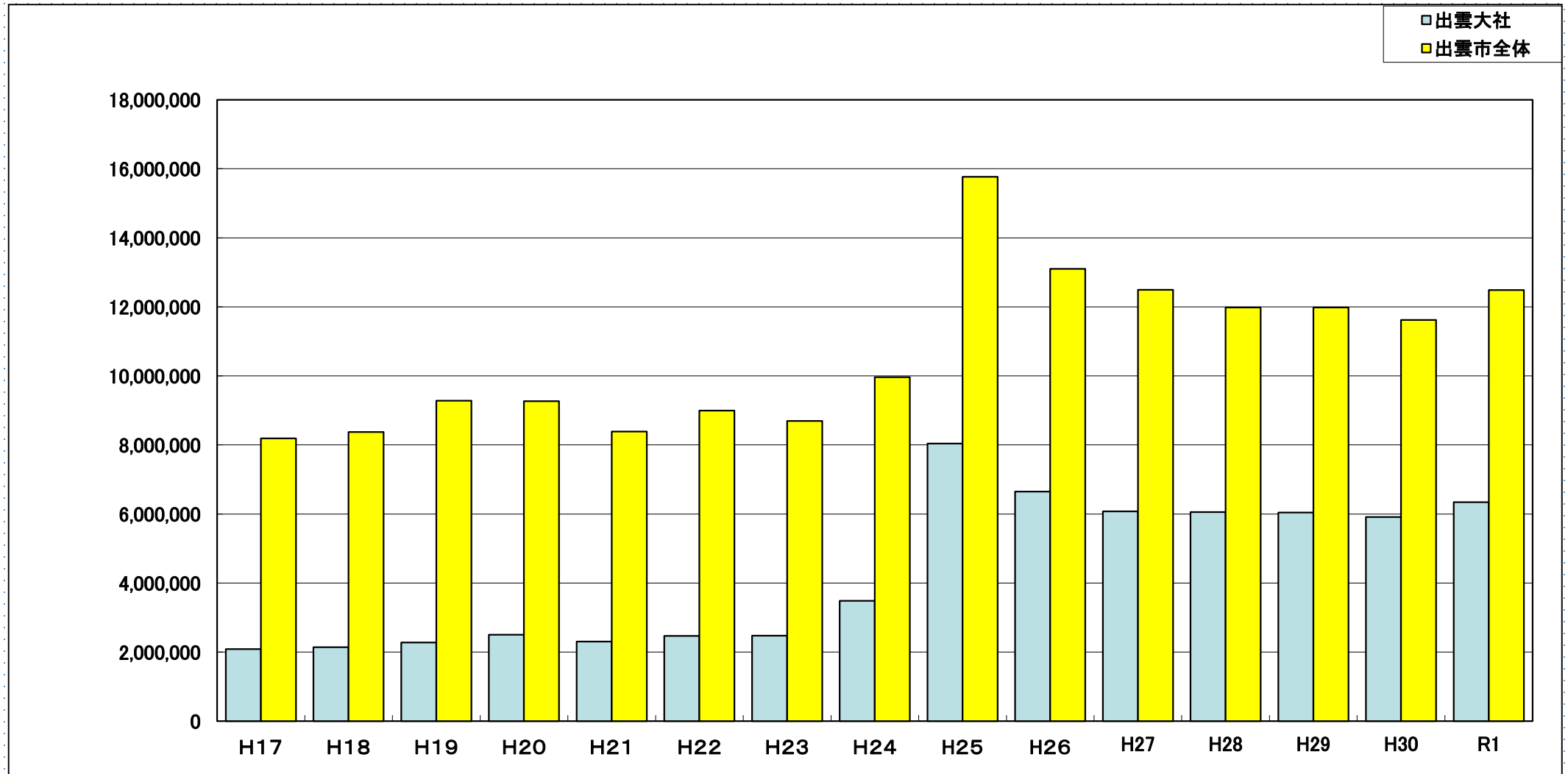
**Answer**

2019年(R1年)は634万人・2013年(H25年)は840万人



# 観光客入込み数

## ～島根県観光動態調査～



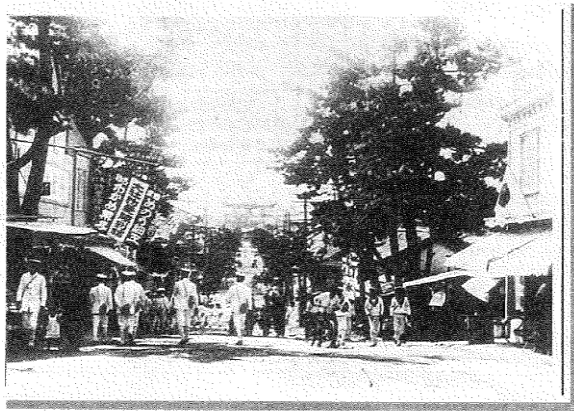


## ～まちづくり～平成の復活のはじまり

1. 平成の大合併 平成17年(2005年)3月22日  
旧大社町人口16,000→ 4市4町合併175,000へ
2. 平成18年(2006年)大社門前若者会設立
3. 平成19年(2007年)神門通り甦りの会設立
4. 平成19年(2007年)3月島根県立古代歴史博物館のオープン
5. 平成の大遷宮のはじまり 平成20年(2008年)4月仮殿遷座祭
6. 平成20年(2008年)から5年間第一次神門通り整備事業
7. 平成25年(2015年)出雲大社本殿の遷座祭
8. 令和元年(2019年)新たな時代の始まり
9. 令和3年(2021年)東京オリンピック開催(世界からの視線が出雲に…)

## 出雲大社門前町「神門通り」の再生を目指して

～「神話の夢舞台・出雲」の観光地再生に向け多様な主体が参画する沿道まちなか再生検討～



平成 20 年(2008)3 月

調査実施主体：大社門前町若者会

調査事務局：出雲市都市整備部大社門前町整備課(0853-21-6555)

### 全国都市再生モデル調査とは

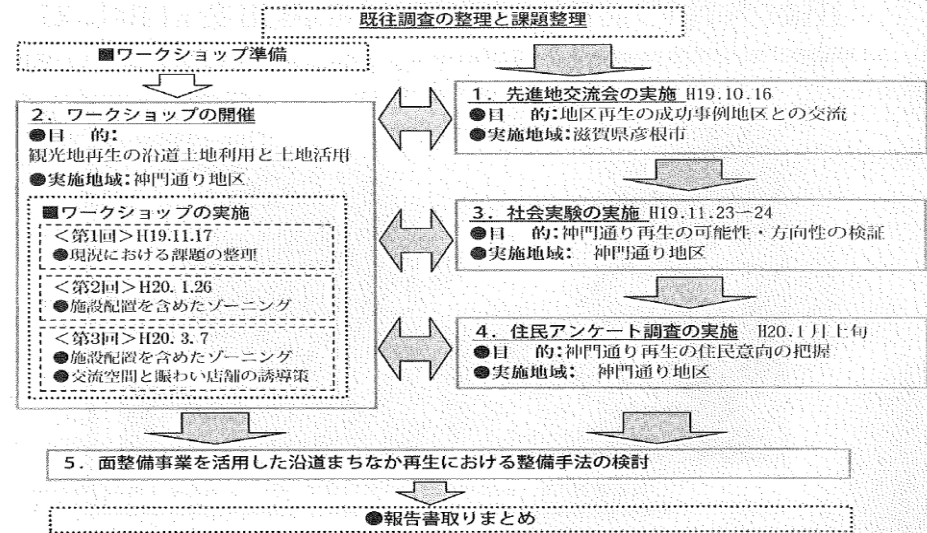
内閣官房都市再生本部が全国各地で展開される先導的な都市再生活動を支援するために実施するモデル調査事業です。今回は、大社門前町若者会が提案した『神門通り再生に向けた沿道の土地利用や整備のあり方、取り組みの方向性』についてモデル指定を受け調査を実施しました。

調査は、大社門前町若者会メンバー、地元神門通り沿線及び周辺住民の皆様も参画も得て、総勢約 40 名の委員によりワークショップ、住民アンケート調査、社会実験などに取り組みました。

### 大社門前町若者会とは

出雲市内に住みながら様々な分野で活動している若者の集まりです。昭和から現在に至る長年の念願であり、今後の出雲市の観光発展をも左右する重要課題である「神門通り」の再生について地元神門通りの方々と力をあわせて取り組みながら、市内の産物や文化が集い、訪れる人をもてなしていたかつての神門通りの姿・賑わいの復活を目指しています。

### 調査の全体像



### 調査の経過 \*調査期間 平成19年10月～平成20年3月

時期	項目	調査概要
10月16日	先進地交流研修会	・滋賀県彦根市「彦根夢京橋キャッスルロード」他の研修会等
11月17日	第1回ワークショップ	・先進事例紹介、市の取り組む門前町整備事業の概要説明 ・グループ討議「神門通りに賑わいを復活するために何が必要か？」
11月23-24日	社会実験	・神門通りの中心部に実験店舗を開設(お土産、食・歩き品の販売) ・案内看板、チラシによる神門通りへの誘導実験 ・連携イベント「神迎えの道～食・遊・見・迎～」
1月3～11日	住民アンケート調査	・神門通り沿線、周辺住民 240 世帯に配布し回収率 47.9% ・神門通りの現状、歩道、空き店舗対策などについて意向調査
1月初旬	ニュースレター(1号)発行	・神門通り沿線、周辺住民 240 世帯に配布 ・調査概要、第1回ワークショップ結果など
1月26日	第2回ワークショップ	・神門通り再生の方向と具体的な対策について ・空き店舗対策、街並みや環境、道路や歩道のあり方など
3月初旬	ニュースレター(2号)発行	・住民アンケート調査、第2回ワークショップ結果など
3月7日	第3回ワークショップ	・具体的な再生方策(エリア区分、整備の優先順位、主要課題など)
3月下旬	調査報告書の作成	・調査結果を報告書にまとめる(ダイジェスト版の作成など)
4月28日	市長、市議会へ調査報告	・調査結果を市長、市議会に報告
5月中旬(予定)	住民報告会	・神門通り沿線、周辺住民に調査結果を説明
年間	若者会打ち合わせ	随時開催

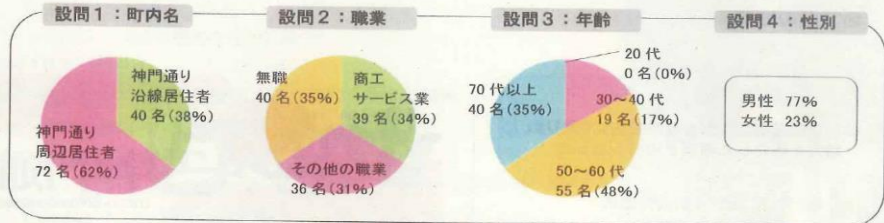
## 住民アンケートの結果

神門通りの住みやすさや現状について何うとともに、第1回ワークショップで出された意見をもとに、今後の神門通りの方向性、環境や景観問題、歩道の安全性、賑わいの創出に向けた取り組みなどについて設問を設定しました。

■対象地域：「神門通り沿線及び隣接町内」15町内

■日 程：【発送】平成19年12月25日【返送】平成20年1月11日

■回収状況：送付総数 240枚 回収総数 115枚 回収率 47.9%



設問5：地区の住みやすさ  
 「今のままで十分住みよい」 67%  
 「今のままで住みにくい」 33%  
 約7割の方が住みよいと回答

設問6：神門通りの現状  
 「今のままで良い」 32%  
 「今のままで良くない」 68%  
 約7割の方が今のままで良くないと回答

設問7：神門通りへの店舗の出店  
 「大変望ましく、もっと出店してほしい」 91%  
 「出店には反対」 9%  
 約9割の方がもっと出店してほしいと回答

設問8：今後のまちづくりへの協力  
 「参加・協力したい」 59%  
 「参加・協力しようとは思わない」 41%  
 約6割の方が参加・協力したいと回答

設問9-1：神門通りの歩行の安全性  
 「問題がある」 58% 「問題はない」 15%  
 「どちらともいえない」 27%  
 約6割の方が問題があると回答

設問9-2：神門通りの歩道の拡幅  
 「拡幅が必要」 40% 「拡幅は不要」 38%  
 「どちらともいえない」 22%  
 必要、不要ともに約4割の方が回答

設問9-3：神門通りの空き店舗対策等  
 「対策が必要」 81% 「対策は不要、困難」 7%  
 「どちらともいえない」 12%  
 約8割の方が対策が必要と回答

設問9-4：神門通りの方向性  
 「観光地としてのにぎわい」 31%  
 「生活の場としての環境」 6%  
 「観光と生活のバランス」 63%  
 約6割の方が観光と生活のバランスと回答

設問9-5：神門通りの環境や景観  
 「問題がある」 59% 「問題はない」 14%  
 「どちらともいえない」 27%  
 約6割の方が問題があると回答

自由意見（主な意見を抜粋）  
 「空き店舗対策への対応」「歩道拡幅・整備に賛成」「歩道拡幅に反対・疑問」「駐車場の整備促進」  
 「足湯・温泉施設の活用」「神門どおりにふさわしい町並み景観の整備促進」など

## 社会実験の結果

神門通り社会実験とは、第一に、「観光客の神門通りへの誘導」・「神門通りの既存の店舗の紹介及びPR」・「新たな魅力の創出」を試み、神門通りの賑わいの復活を図ること、第二に、取り組みを通して神門通りの再生のために必要な店舗間連携や機運の醸成を図ることを目的とする取り組みです。

今回の社会実験は、11月23日（金：勤労感謝の日）～24日（土）の2日間にわたり行いました。両日ともに神在祭期間中（11月20～26日）ということもあり、全国から出雲大社信者・観光客・周辺住民が多数出雲の地を訪れ、神門通りに足を止めてくださいました。取り組みの具体的な内容は以下の通りです。

### 社会実験の概要

- 神門通りの魅力紹介・誘導
- 主要交通拠点、新たな店舗前に神門通りの魅力を紹介した看板を設置しました
  - ①一加バス JR 出雲市駅前停留所  
→バス利用者の神門通りでの下車を促進
  - ②勢溜交差点  
→古代出雲歴史博物館からの観光客を誘導
  - ③いづも屋前
  - ④ぜんざい学会1号店前
  - ⑤香りブレッセ前  
→店舗間の相互連携、紹介機能の発揮
  - ⑥一加電鉄出雲大社前駅  
→電車、バスによる来訪者に通りの魅力を紹介

- 神門通りの新たな魅力の創出
- 実験販売コーナーを設置しました
  - ①香りブレッセ前販売コーナー  
→シジミバスタ、たこ焼き、アケセサリーなどの販売と無料休憩コーナーの設置
  - ②岩井氏宅(借用：11月22日～24日)  
販売コーナー  
→鳥根和牛おむすび、漬物、お菓子など地元特産品の販売拠点の設置



## □社会実験の成果と課題

### ◆観光客に対する神門通りの魅力紹介及び誘導実験～成果と課題～

#### (1) 看板の設置

- ▼通りの観光情報を提供する案内看板としての機能は充分発揮しました。
- ▼しかし、観光客の誘導という効果は極めて少なかったといえます。

#### (2) チラシの設置、配布

- ▼通りの魅力を伝えることに主眼を置いたチラシでしたが、同時に配布した出雲大社周辺のまち歩きを補助するマップの方の需要が多かったです。
- ▼試験的に女性を中心に配布した「緑結びシール」は、コミュニケーションツールとして大きな機能を発揮しました。

### ◆神門通りにおける新たな魅力の創出実験～成果と課題～

#### (3) 実験販売コーナーの設置

##### ▼販売実績

- 漬物(津田かぶ漬けなど):若い女性客が多かったこともあり苦戦しました。
- 島根和牛おにぎり:両日100個づつ用意したが2日間ともに完売。

地元客も多数購入されました。

- 出雲そば:土産品として選ばれました。
- 出雲銘茶:若い女性客が多かったこともあり苦戦しました。
- てんぷら:3枚入りであり観光客には敬遠気味でした。(試食は好調)
- 野焼き:土産品として選ばれていました。(試食も好調)
- 出雲ぜんざい:レトルトぜんざいが女性客の土産品として選ばれていました。

- お菓子(クリーム大福など):若い女性客、地元客に大人気でした。ほとんどが複数購入でした。

##### ▼客層

- ▼出雲大社への参拝客のうち神門通りを訪れる観光客はまだ少ない。
- ▼ぜんざい学会1号店以南に観光客をアプローチさせる工夫が必要です。
- ▼若年層の女性グループが圧倒的に多かったです。

##### ▼売筋商品など

- ▼食べ歩きできる商品がよく売れました。(和牛おにぎり、大福、ぜんざい餅)
- ▼神門通りには飲食店の絶対数が足りません。
- ▼若い女性が多く、大福などのお菓子、アクセサリがよく売れた反面、漬物類は苦戦しました。

##### ▼総合意見

- ▼歩道が狭く、雨天時は雨水が溜まり歩行環境に問題があります。
- ▼町全体でおもてなしの心を持ち、観光客と接する必要があります。
- ▼「緑結び」というイメージを通りの活性化に活かす道を探るべきだと考えます。

来訪者誘導看板・ポスターの設置



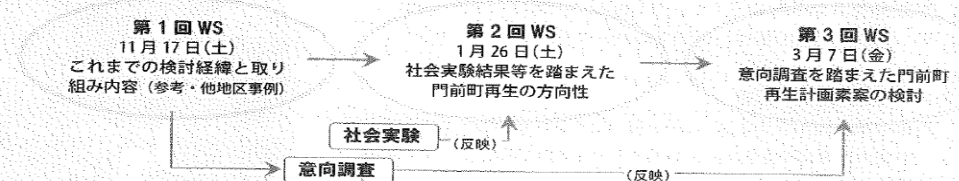
実験販売コーナーの設置



## ワークショップの結果

### □ワークショップの概要

地元住民有志、各団体メンバーによって計3回開催しました。



### □ワークショップでの主な意見「神門通り再生の方向性」

社会実験やアンケート調査を踏まえ、神門通り再生の方向性やアイデア等を出し合いました。

#### 道路や歩道のありかたについて

- 松並木は残し守るべきものであり、補植を進めるべき
- 歩道の拡幅、バリアフリー化が必要
- 拡幅ではなく一方通行、通行止め・歩行者天国(住民に通行証、迂回路)で歩道確保

#### 景観・街並みづくり

- まず住民がどのような街並みにしたいかが重要(意見集約、地区計画、建築協定など)
- 純和風の景観が望ましい
- 街並み・家並みの統一感(看板、のれん、外装等を統一、歩道に看板、物を置かない)
- まず新規出店者から取り組みな
- 商工会館の景観対策や電線類の地中化を
- 環境は後からついてくる

#### 神門通りに欲しい店舗

- 店舗の集積(一部でもよい)
- ジュース、お菓子、傘等が買えるちょっとしたお店、コンビニ
- 出雲そば、駄菓子屋(あてこ、射的)、軽食、土産物店、立ち食い店(そば、うどん)

#### 拠点施設

- 拠点となる施設が必要(目玉施設、特産館、ふれあい広場、観光情報発信ステーション、ポケットパーク等)
- 吉兆館に日本一の足湯、商工会館に特産館などがあれば大鳥居からの動きの起点となる
- 阿国座を勢溜東角に建築(行楽館の復活、歌舞伎お練りなども)

#### 温泉活用

- 足湯施設(神門通りに小規模、吉兆館に大規模なもの)
- 吉兆館活用で温泉施設
- 温泉をパイプラインで配湯

#### 神門通り開発の考え方

- 先行して勢溜交差点から坂道付近までを整備する
  - ・廃屋対策(撤去し駐車場付きの店舗、建替え、公園化等)
  - ・崩れかかっているの法面(石垣)の整備
  - ・坂道の拡幅や歩道、排水の整備
  - ・盛土して道路と同じ高さに
- 勢溜交差点から電鉄駅前までを2~3区間に区切り、勢溜から順次整備する
- 街路事業によって街並みがきれいになるように建替えを進める
- ゾーン化が必要(飲食ゾーン、特産物ゾーン、癒しゾーン、ふれあいゾーン)
- 歴史的背景に配慮したまちづくりの推進

#### 空き店舗・出店対策

- 空き店舗の賃貸、売却意向調査の実施
- 出店希望者の募集、とりまとめと空き店舗所有者と調整(行政、商工会、NPO等)
- 出店者に家賃補助等のリスク軽減支援、チャレンジショップ支援
- 株式会社で一括借り受けし、貸し出す
- 共同出店、土日祝祭日限定出店等できるところから
- 神門通り広場周辺に出店環境を整備
- 魅力ある店舗(目も肥えた観光客に中途半端なものは通用しない)

#### 歩いて楽しい通りに

- 旗や花を飾るなどソフト対策で活性化
- 石灯笼などでライトアップ

#### 駐車場

- 駐車場を整備(商工会館用地、大社支所用地、吉兆館に巨大駐車場)

#### コマーシャル

- 関東、関西にテレビ等でコマーシャル

□ワークショップエリア別まとめ



提言

(1) 神門通りの現況について

【一般区間】 **エリアA・エリアB・エリアC・エリアD**

- ・幅員12mが確保されている
- ・松並木があり、歩道もインターロッキング舗装されている。
- ・松のある部分は歩道が狭く、自転車、車椅子の通行に問題がある。

【坂道区間】 **エリアA**

- ・宅地と道路間に高低差がある。
- ・歩道も未整備で、松並木も無い。

【現行の都市計画決定状況】

- ・現行計画では16m道路として計画決定されているが東側に拡幅する計画となっている。
- ・現行計画では松並木が残せない。
- ・現行計画では街並みが片側だけ整備され、通りとしての統一感を欠く。

(2) 神門通り整備に関する動きについて

1) 大社門前町道路網計画策定委員会の提言

- 平成18年度に市が設置した「大社門前町道路網計画策定委員会」において、神門通りの整備のあり方について以下のような提言がなされている。
- ・将来の交通量の推計から現行の2車線が適当である。
- ・幅員は16mを基本とした計画が望ましい。
- ・門前町のシンボルロードとして松並木が存続できるよう計画法線の変更を検討すべきである。

2) 神門通りに接する国道431号(都市計画街路通壇杆築線)歩道整備事業

- 国道431号の歩道整備については、勢溜から東側については県立古代出雲歴史博物館の開館にあわせ整備を完了しているが、西側から宮内に至る部分については片側のみ整備がされている状況にある。鳥根県においては、平成19年度において勢溜以西(勢溜~大社観光センター神宴区間)の歩道整備を図るべく測量調査が開始された。
- この事業の推進にあたって、次のような課題がある。
- ・勢溜交差点の改良が伴う。
- ・道路と周辺宅地との高低差の解消方策と移転建物の立地の検討が必要である。
- ・勢溜周辺の景観整備に配慮する必要がある。
- ・勢溜に設けられている路線バス(一畑バス)の停留所の取扱いについて検討する必要がある。

3) 神門通り広場の整備、オープン **エリアA・エリアB**

【坂道区間整備の緊急性】

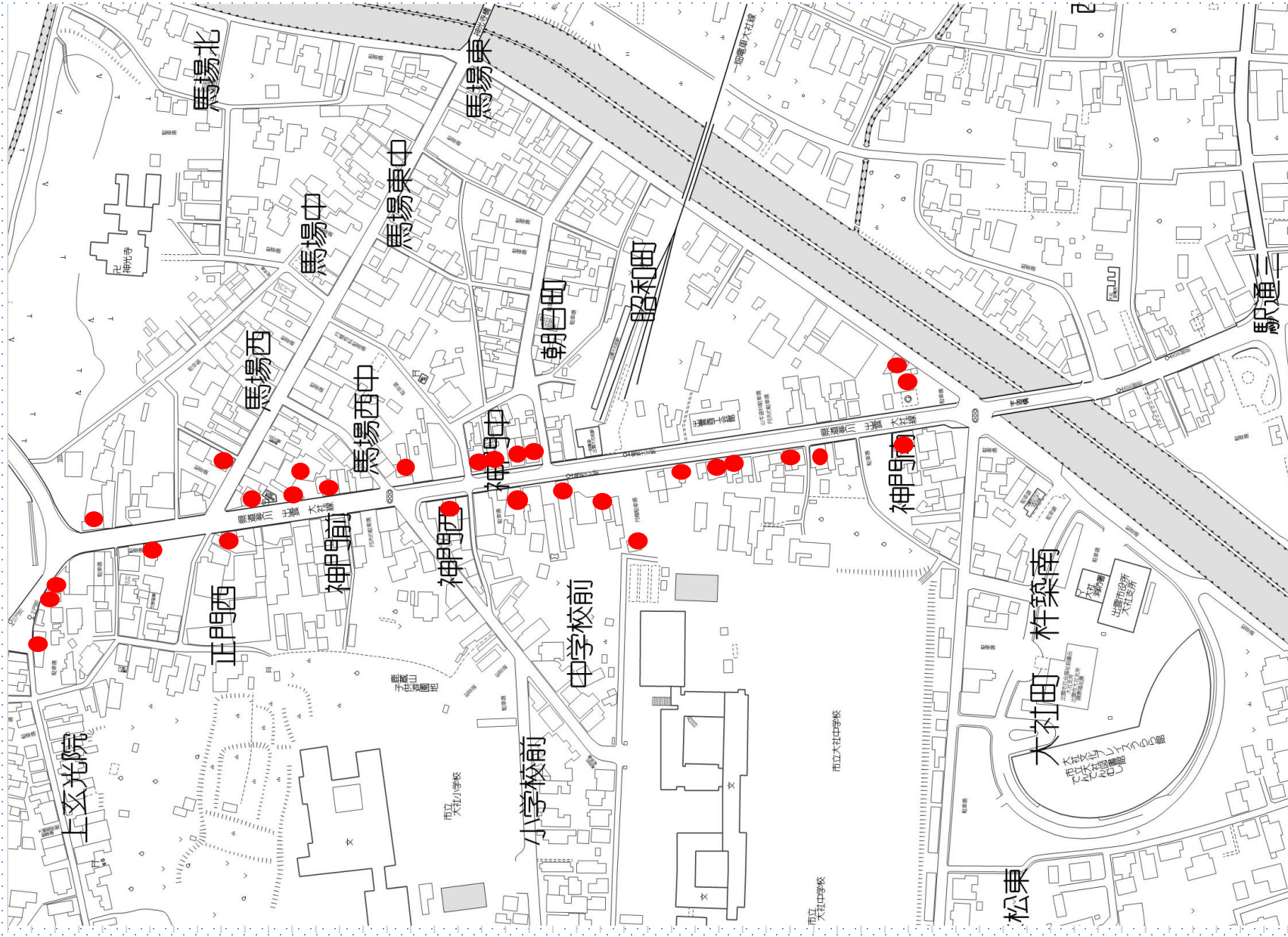
- ・市においては、平成21年春に神門通りに「神門通り広場」を整備、オープンする予定であり、これを活用し、神門通りから出雲大社参道に至る観光動線を強化するうえで、歩行者の安全確保と景観整備のために坂道区間の歩道整備は緊急の課題である。
- 【神門通り広場を活かしたまちづくりの必要性】
- ・広場を活用し神門通りに賑わい呼び起こすイベントを展開する。
  - ・神門通り交通広場でのバスやタクシーの乗降を促進するモデルプランを作成しPRする。(送迎、駐車)
  - ・出雲大社参道を通して参拝することの価値をPRする。
  - ・広場周辺に観光案内、ボランティアガイドを配置する。

(3) 坂道区間の部分的区画整理の可能性について **エリアA**

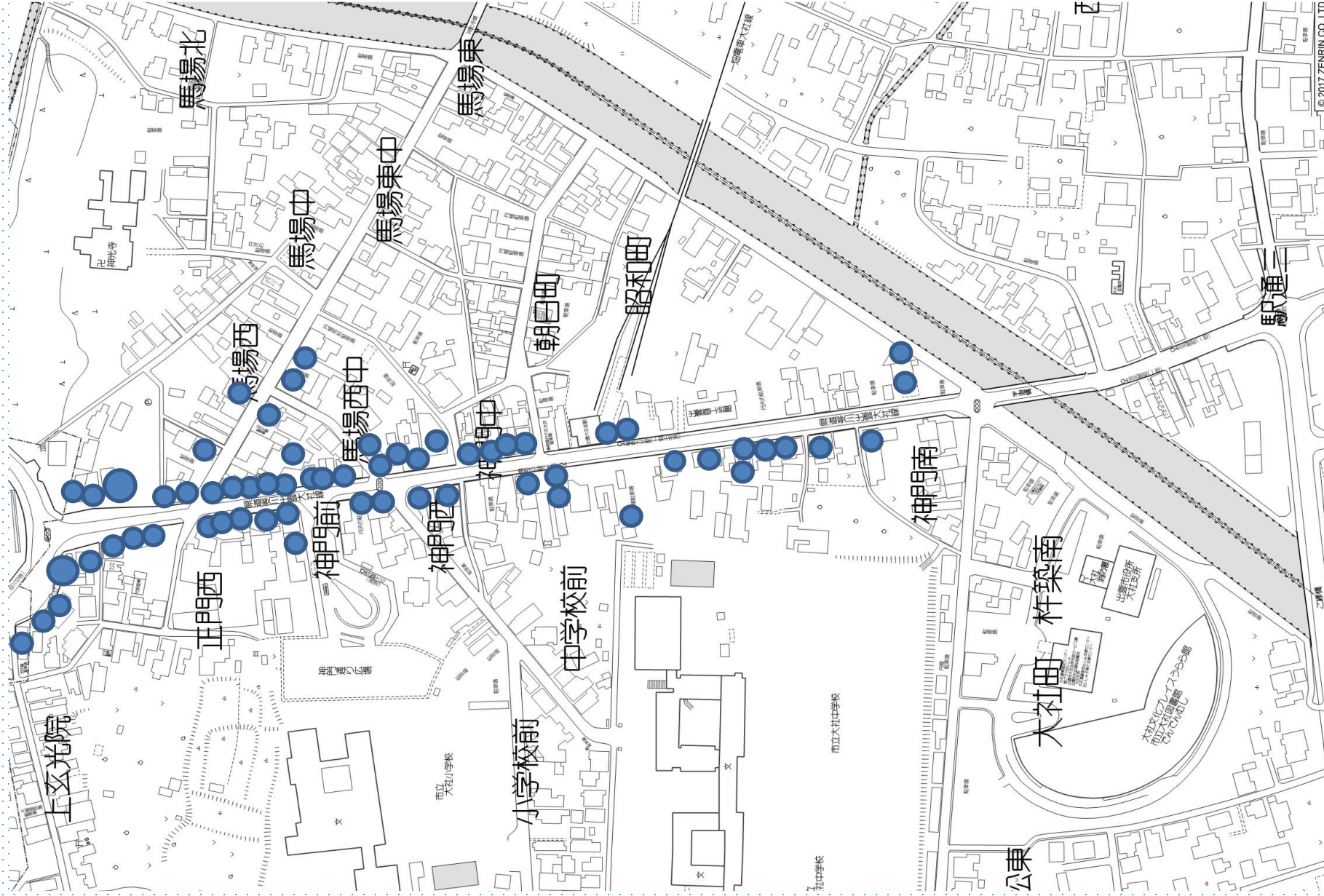
- ・勢溜交差点改良、歩道整備に伴い、既存商店の移転が想定されることや、道路と宅地との高低差があることから、歩道整備にあわせて、景観対策や商業集積策を検討することが是非とも必要と考える。
- ・特に、県立古代出雲歴史博物館のオープンに伴って、勢溜東から出雲大社にアプローチする観光客が格段に増加しており、勢溜付近が観光客歩行動線の結節点となりつつある。このため、勢溜に隣接する坂道区間の事業展開(商業開発)が行われることによって神門通り広場、神門通り沿線との連携が生まれ、門前町観光の新たなスタイルが形成される可能性が高いと考える。
- ・空家対策、歩行者の安全確保、景観対策を含め、坂道区間の区画整理を検討する意義は大きい。



# 店舗の状況 平成17年(2005年)29店舗

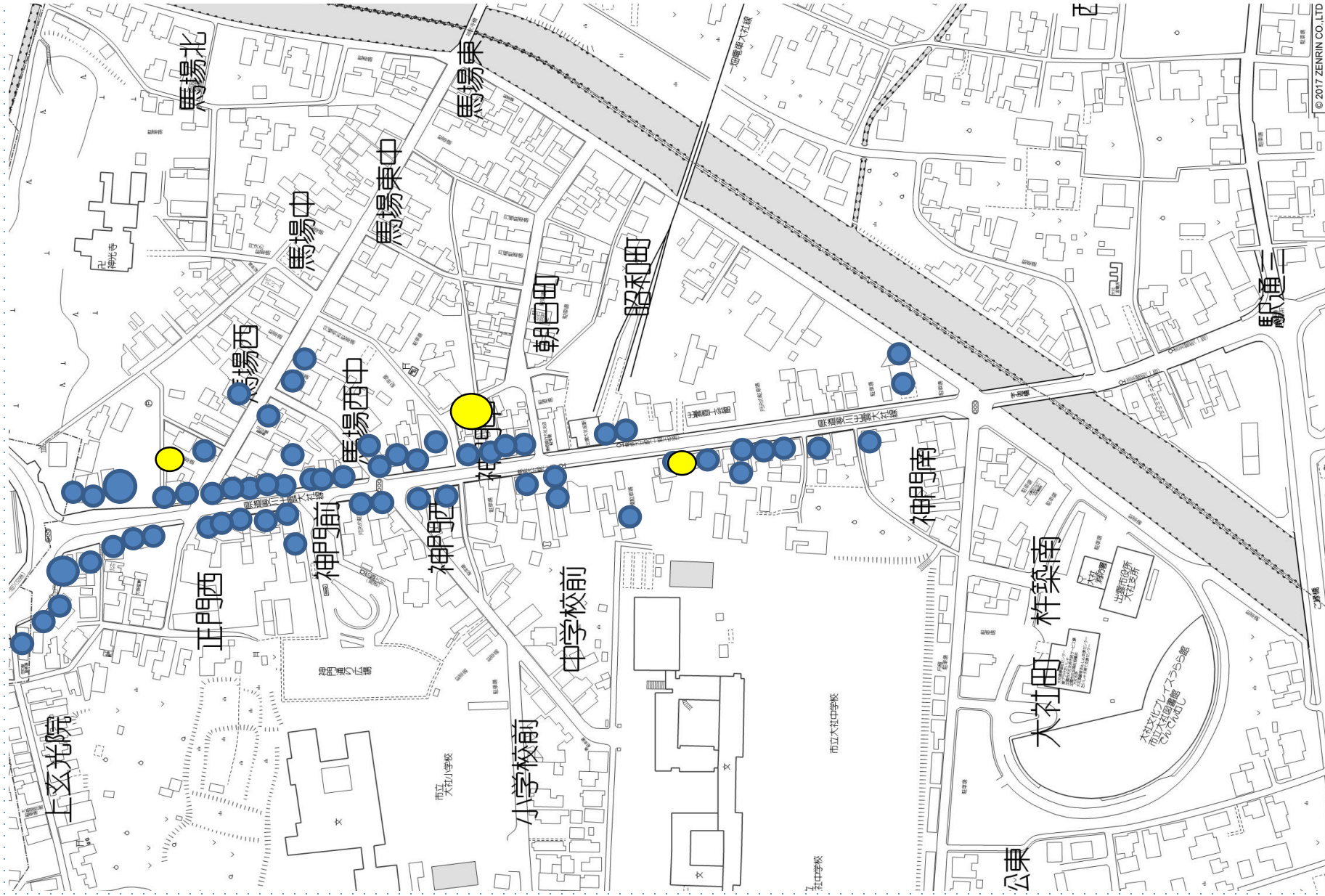


# 店舗の状況 平成29年(2017年)76店舗





# 店舗の状況 令和3年1月(2021年)80店舗



# 出雲大社周辺



# 神門通り整備事業紹介パンフレット

神々のふるさと

出雲のくノ

神門通り

祈りの道、そして出会いの道

このため、県、出雲市、地元が、体となって、出雲大社の門前にふさわしい風格とにぎわいのある通りへの再生に取り組んでいます。

安心して楽しみながら歩ける道とするため、道路幅員の見直しや、石畳化、オリジナル照明の整備を行ったほか、沿道の町並みの景観づくり、「にぎわいづくり」の取り組みを、地味をあけて進めています。

出雲大社への参詣道「神門通り」は、国鉄大社線の開通にあわせ、約100年前に開設されました。開設にあわせ、小林徳一郎氏から寄贈された大島松と松並木が、今も変わらず通りを象徴する景観となっています。沿道は開通以来、多くの参拝客が往来し、門前町として栄えてきましたが、市社会の到来により、歩行者の往来が減り、かつてのにぎわいが失われていました。



## 神門通り道づくり・町づくりのあゆみ

- 鳥根県 出雲市 神門通りの会・商工会等
- 平成20年7月 観光客へのおもてなしを活動目的として「神門通り整りの会」が発足
- 平成21年3月 神門通り広場オープン
- 平成21年7月 神門通り広場での「軽四朝市」がスタート

### 平成21年10月～平成21年11月 神門通り整備に関する住民アンケート調査

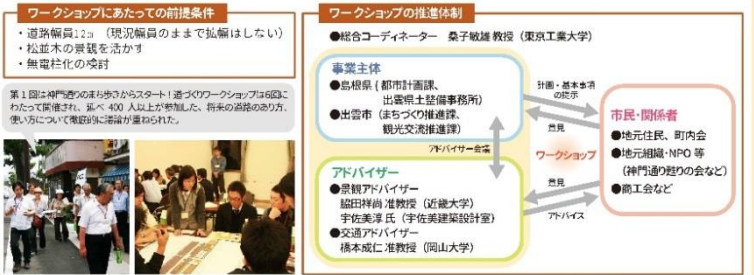


神門通りの幅員を12mから16mに拡幅する計画に対して、「反対」が52%、「松並木を保存すべき」が83%と高い結果となる。

- 平成22年
- ・たいこくま石像の設置とたいこくまをめぐるデジフォトラリーの開催
  - ・地域交流を目的とした「神門通りハイアガーデン」の開催 など

### 平成22年7月～平成23年3月 神門通り道づくりワークショップ

平成21年の住民アンケート調査の結果を踏まえ、以下の前提条件によりワークショップを開催した。



### 社会実験 車道を狭め、歩行空間を拡げる計画の安全性を検証するため社会実験を実施

- 【結果】
- 車のスピードが低下し、歩行者が並列歩行可能に
  - アンケートの結果、道を広く、車道を狭くするような道路区間整備について「賛成」が多くなった
  - 大型車同士のすれ違いが危険なため、大型バスの北進一方通行の自主規制を呼びかけることとなる

### 道づくりワークショップ・社会実験の成果

#### 【交通安全】人と車がゆずり合う歩車共存道路（シェアド・スペース）として整備する

- ・車道を7m から5mに狭め、歩行空間を拡げ中央線を消去する
- ・制限速度を時速30kmとする

#### 【景観】出雲大社の参詣道として「風格」と「にぎわい」のある道を目指す

- ・石畳舗装とし、景観に配慮した照明とする（電線類を地中化）
- ・建物修景の基準となる「神門通りまちづくり協定」を策定し、建物の改装には補助金により支援を行う



# 神門通りの建物修景



# 建物修景助成 H23完了 絆屋



施工前



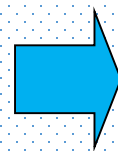
施工後



# 建物修景助成 H24完了 堀江薬局



施工前



施工後



# 建物修景助成 H24完了 福乃和



施工後



# 建物修景 R2年(2020年)



施工後





～素材や形状で、こんなに変わります～



目立ってなんぼ！  
周囲との調和？  
しゃあんもん、どげ  
でもいいわ～。



シンプルな形状と、  
控えめな色づかい  
にしてみました。



素材を木製に変え  
ました。おっ、だい  
ぶいい感じ！



板に厚みを持たせ、  
雰囲気のある書体  
にしました。こ～のもん  
だわ！



けばけばしい色合いで、たくさん看板が付  
いています。確かに目立ちますが、神門通  
りの雰囲気と合わないような…。



シンプルなデザインと和風の素材が、建物  
とマッチしています。景観を損ねることもな  
く、まちの魅力アップに一役買っています。



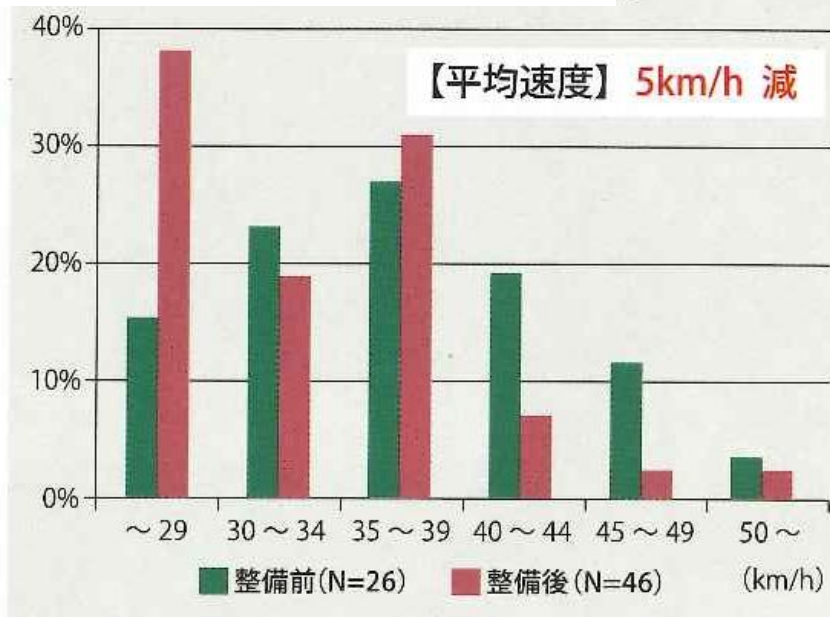
# 交通

## ●シェアド・スペース(歩車共存道路)

- ・歩行者と自動車を分離する構造を排除
- ・歩行者と自動車双方の安全意識を高める
- ・採用にあたっては社会実験を実施  
(ドライバーアンケート、自動車のスピード計測)
- ・観光バスの北進一方通行化(自主規制)

【自動車走行速度の低下】

下



【幅員構成の変更】





## ② question time

皆さん、出雲大社には鳥居がいくつあるでしょうか？

💡 ヒント：神門通りの始まりは宇迦橋、大正4年に建てられた当時日本一の鳥居、この鳥居が一の鳥居と言われてます。

**Answer**

4つ(4つの鳥居ストーリーの誕生)



## ③ question time

先ほどの一の鳥居は高さ何メートルでしょうか？

💡 ヒント：出雲大社のご本殿の高さは24mです。  
それより低く建てられています。

**Answer**

23メートル(幸せ(4合わせ)の鳥居)



## ④ question time

石畳に次の時代につなげる  
試みがされている事とはなんでしょう？

### Answer

石畳へのメッセージが記入されています(約600枚)。  
100年後へ・夢、希望、思い。

# 歴史を受け継ぎ現代へ

## 石畳に残そう100年のメッセージ記入イベント

- 平成27年5月(6日間)のイベント:延べ2,117人
- たくさんの人の思いが詰まった石畳



### メッセージ 石畳に残す

出雲

道の石畳舗装が行われていた出雲市大社町の神門通りで、石畳に刻まれたメッセージを書き込める「石畳に残そう100年のメッセージ記入イベント」が行われた。前半は百から百まで行われ、後半は20日から31日まで期間実施する。

出雲市整備事務所は、今年度の主権で、2016年に行われた、4回目を迎えた。今回は、神門通りの一帯に、大社町大社前駅から大社町までの約1.5km区間で、約150枚の石畳に、メッセージを記入する。このイベントは、2016年から2017年にかけて、神門通りの整備工事で、神門通りの石畳を、大社町大社前駅から大社町までの約1.5km区間で、約150枚の石畳に、メッセージを記入する。このイベントは、2016年から2017年にかけて、神門通りの整備工事で、神門通りの石畳を、大社町大社前駅から大社町までの約1.5km区間で、約150枚の石畳に、メッセージを記入する。

### 家族の絵や良縁願い… 石畳裏にメッセージ

大社町道敷 前に観光客から

石畳に刻まれたメッセージを、大社町道敷の観光客から集めた。家族の絵や良縁願い、石畳裏にメッセージを記入する。このイベントは、2016年から2017年にかけて、神門通りの整備工事で、神門通りの石畳を、大社町大社前駅から大社町までの約1.5km区間で、約150枚の石畳に、メッセージを記入する。



# 神門通り ～勢溜付近～



施工前



施工後(令和3年現在)



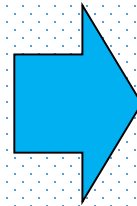


# ゴールデンウィークの状況(改修後人優先の道へ)

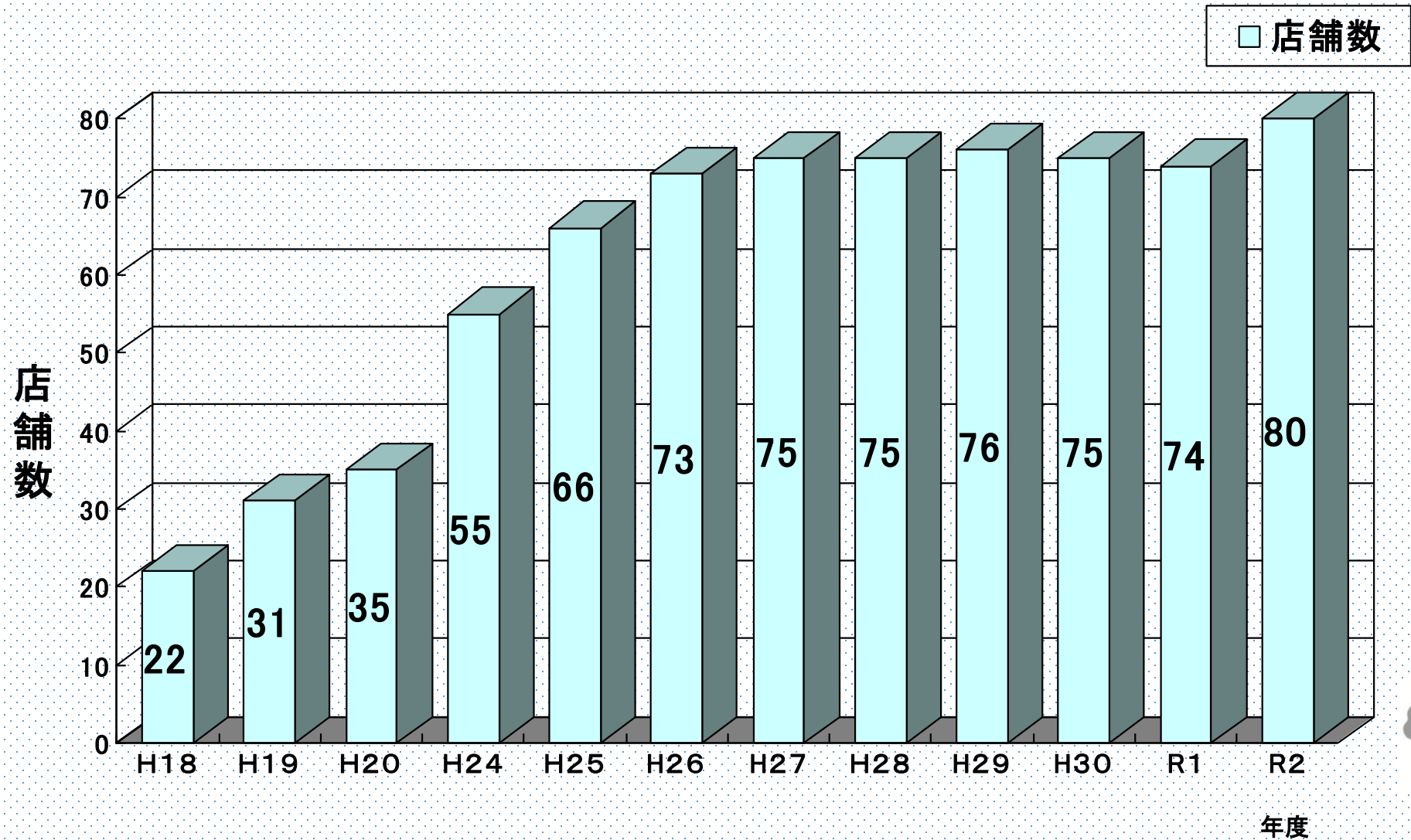
H24年5月



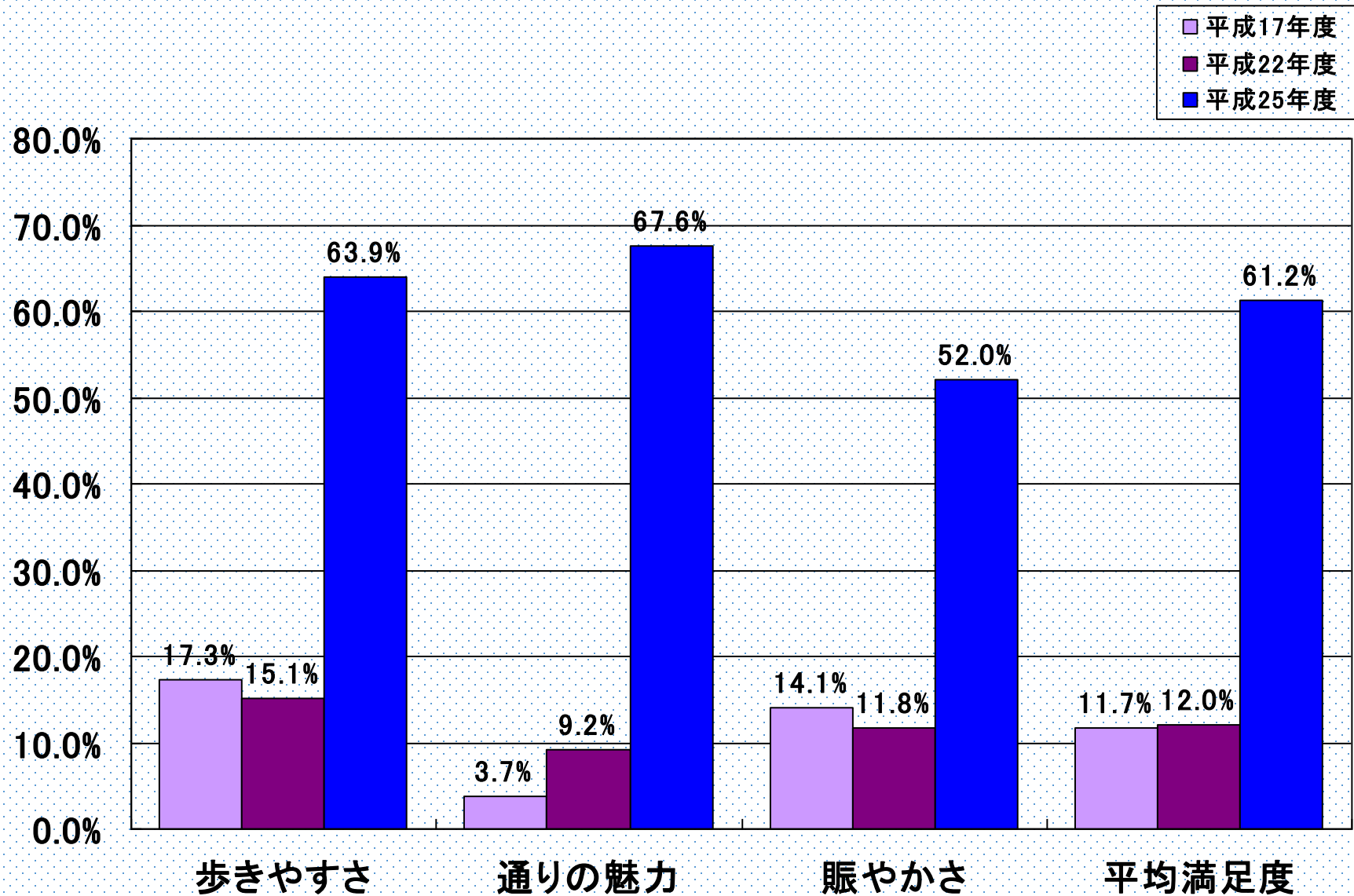
H25年5月



# 神門通りへの出店状況



# 歩行環境満足度調査～地元住民アンケート調査～



# 平成の大遷宮の誘客効果と「おもてなし」

資料：出雲市

## 遷宮効果による神門通りの賑わい

単位：人

区分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
出雲市への入込者数	8,692,786	9,966,044	15,764,478	13,101,204	12,495,489	11,984,189	11,983,084	11,618,836	12,488,935
出雲大社周辺への入込者数	2,479,000	3,483,000	8,040,000	6,647,000	6,076,000	6,058,000	6,040,000	5,911,000	6,340,000
宿泊者のべ人泊	469,974	500,118	588,087	575,133	602,875	618,022	678,573	747,054	794,951
観光協会HPへのアクセス者数	484,441	803,929	2,147,423	1,219,817	1,173,746	1,145,732	1,087,005	902,430	1,212,447
外国人宿泊者数	3,122	2,728	2,873	4,133	4,823	6,148	6,250	7,875	11,522

# 遷宮の経済効果

資料：日本銀行

(図表5)観光イベントの経済波及効果の比較

開催年	イベント (出雲大遷宮以外 はNHK 大河ドラマ)	舞台と なる県	経済波及効果(A)		波及効果 倍率 (A/B)	調査機関
			[単位:億円]	うち直接 効果(B)		
2013年	出雲大社大遷宮	島根	344	233	1.48	日銀松江支店
2013年	八重の桜	福島	113	70	1.61	日銀福島支店
2012年	平清盛	兵庫	150	102	1.47	日銀神戸支店
2011年	江～姫たちの戦国～	滋賀	162			滋賀県
2010年	龍馬伝	高知	535	342	1.56	日銀高知支店
		長崎	182	104	1.74	長崎経済研究所
2009年	天地人	新潟	204	127	1.61	日銀新潟支店
2008年	篤姫	鹿児島	262	151	1.74	鹿児島地域経済研究所
2007年	風林火山	長野	109	70	1.56	日銀松本支店
2006年	功名が辻	高知	135			「功名が辻」高知県推進協議会
2005年	義経	山口	179			日銀下関支店
2004年	新撰組!	京都	203			日銀京都支店
2003年	武蔵 MUSASHI	山口	148			日銀下関支店
上記「NHK 大河ドラマ」の平均値			199		1.61	

# 平成の大遷宮（2013年・9年前）

平成25年5月10日 出雲大社本殿遷座祭

「神風」という追い風

観光客数 200万人 → 804万人

店舗数 26店舗 → 75店舗

雇用数 40人 → 250人

広告宣伝費換算 14億円(H25)



# 平成の大遷宮



# 現在の出雲大社状況







## ⑤ question time

2020年に記念日協会に制定された  
1月26日は何の日でしょう？

**Answer**

出雲の日

い(1)ず(2)む(出雲弁でもつつ/む→6)の日

# 情報の共有化

**神門通りおもてなし新聞** 第三号 令和3年1月

発行元：神門通りおもてなし協同組合 事務局：〒699-0711 鳥取県出雲市大社町片屋南1344（出雲商工会内） TEL0853-31-9660 / FAX0853-31-9961 発行責任者：田邊達也

**「出雲の日」イベント中止 プルナイトアップ開催**

1月26日「出雲の日」として、25日から31日までの「出雲ウィーク」の期間中、様々なイベント等を企画していましたが、昨今の新型コロナウイルスの世界的な流行により、1月26日の「出雲の日」イベントも中止となります。プルナイトアップは、今年も1月26日の「出雲の日」に開催予定です。この日は、出雲の日のイベントとして、出雲の日の行事を盛り込んで開催いたします。また、この日は、出雲の日の行事を盛り込んで開催いたします。また、この日は、出雲の日の行事を盛り込んで開催いたします。

**令和3年 新年明けましておめでとうございます。**

新年あけましておめでとうございます。本年もご清栄をお祈り申し上げます。神門通りおもてなし協同組合 理事長 田邊達也

**「出雲ウィーク」旗の掲揚のお願い**

1月25日から1月31日の「出雲ウィーク」の期間中、各店舗の掲揚をお願いいたします。新型コロナウイルスの影響により、各イベント中止となりましたが、旗の掲揚は行います。皆様ご協力をお願いします。

**うさぎロゴマークいり「うさぎが喋る」自動販売機登場!!**

この日は「うさぎプロジェクト」が企画した「喋る自動販売機」が1月18日に登場しました。この「うさぎ」のロゴマークの自動販売機は飲料だけではなく、オリーブオイルの「さき」の御朱印「入り」の商品も販売いたします。

出雲の神さまに願いを届けよう！

**神門通り限定 願い木札 330 縁 (税込)**

- 「願い木札」内にある用紙に「名前」と「願い事」を書く
- 願い事を書いた紙をうさぎポストに投函
- 木札はお守りとして持って帰る

みんなが願い事を書いてくれた紙は、毎年、1月26日の出雲の日にお焚き上げをします。神さまに願いが届きますように！

↑ 1月26日 出雲の日を記念して登場した願い札

← 最新号【令和3年（2021年）1月号】

## 私の人生の生きる糧となった言葉

・**ベートーベンの言葉：苦しみの中から喜びが生まれる**

苦しい思いが多いほど、大きな喜びと達成感が生まれる

・**花は色、人は心**

真の美しさとは何か・・・優しい心・人を思いやる気持ち・信じる気持ち

・**夢は叶う、叶えるもの(プラス思考で人生が変わる)**

信念を持って行動する、発信(言葉)する、やり続ける・・・

## ～ひとづくり～つないでいただいた縁

人と人の出会いには偶然は無いと考えてます。  
必然の出会いをどうとらえてどう向き合えるのかが私の人生で大きな起点となって来ました。

何気ない日々の生活の中で沢山の出会いがあり、別れは無いと思います。

諸先輩方との出会いの中で気づかされ心掛けている事。

「与えてもらうのではなく、与えられる人になる」

現在の目標であり日々の沢山の出会いに感謝しこれからも私自身、日本一人とのご縁が良いと思えるように精進したい。



～ひとづくり～ デリオッサ出雲FCとの出会い

大きな転機

2017年に理事長就任、再度サッカーに関わる事に・・・  
全国から夢と希望を持った女性が出雲に集結・・・

なでしこリーグ昇格を目指して昨年まで7度の挑戦・・・  
あと一步で昇格を逃す

今年は、8度目の挑戦・・・七転び八起き  
今年こそ昇格を！！

2022年8月 U-15日本女子サッカー代表に2名選ばれる





サッカー教室で地域の子供達と交流



ジュニアユース選手の育成

2022年8月2日  
ディオッサ出雲FCより  
U-15日本女子代表に  
2名選出される

人づくり…  
地域と共存し  
愛される人の育成

サッカーを通して  
社会貢献に繋げる



思いを一つに…オリジナルTシャツの完成！



地域との関わり大切さを伝える  
堺陽二 監督

大社高等学校を卒業し40周年目を迎え、恩師である先生をはじめ、先輩、後輩との沢山の出会いいつながりを頂き新たな出会い進行中です。そして、本日は沢山の同級生の中からこのような講演の機会をいただいた事も感謝いたします。この美しい日本で生まれ育った事、大社高等学校の卒業生としての誇りを再認識し、この学校を通してつながった皆さまに感謝いたします。

ご静聴ありがとうございました・・・だんだん